

平成27年度「事業計画と予算」を審議、決定

産業振興財団では、2月19日に理事会を開催し、理事9名（定員11名）の出席を得て、新年度事業や予算の審議をいたしました。財団事業の充実及び発展のため、活発な意見が交わされました。

我が国経済は、長引く不況から全体的には緩やかに回復してきたと感じております。国の平成27年度の予算においては地方創生が掲げられ、地域産業の競争力強化を支援する各種の施策を進めるとしているところです。当財団においても、これら経済・社会の動向をふまえ、積極的に事業を推進していきます。

平成27年度、企業支援事業においては、専門家による「企業訪問」、市内創業支援機関等のネットワークを生かした「起業支援」、産学官連携による新たな人材育成事業、販路開拓助成の拡充等、一層の充実を図ってまいります。また、貸館サービス向上についても全館で取り組んでいくこととしております。

（詳細は財団HPに掲載）



松本 好雄 理事長

<平成27年度の重点的な取り組み>

（1）専門家による企業訪問、経営相談の実施

新たに専門家を配置し、企業訪問を実施します。地域企業の状況把握とともに経営課題の解決を図ります。

（2）起業・第二創業、経営革新に対する支援

これまで構築してきた市内創業支援機関とのネットワークを活用し、起業者の支援を行います。また第二創業等の経営革新を支援します。

（3）産学官連携による人材育成事業の充実

大学関係機関、教育・研修機関等との連携により、新たな人材育成事業を実施します。

（4）貸館利用サービスの向上

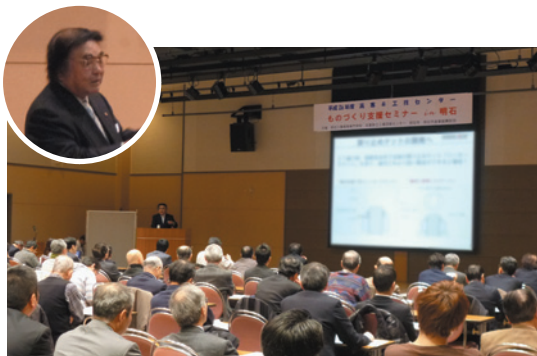
平成26年度本格導入した貸館運営システムによる利用状況の分析、サービス向上会議の取り組みにより、新たなサービス向上を実現し、一層の満足度向上と利用促進を図ります。

（5）次期指定管理者の公募及び選定

従来 of 諸事業の実績とともに、新たな事業展開を図る提案をもって、次期指定管理者の公募及び選定に臨みます。

明石高専&工技センター『ものづくり支援セミナーin明石』を開催

ー去る1月28日に第6回目を開催し、企業や支援機関の関係者等約110人超が参加ー



商品開発や経営哲学について熱く語る若林社長

第1部の基調講演では、『絶対にゆるまないネジ～現場ひとすじ「なにわのエジソン」が明かす経営哲学、開発手法とは～』をテーマにハードロック工業(株) 代表取締役社長の若林克彦氏が、日本の新幹線、海外の高速鉄道、東京スカイツリー、瀬戸大橋等にも広く採用され世界に誇る「ハードロックナット」の開発秘話を紹介。

ネジの緩みを止めるため、神社の鳥居を見て『クサビ』の原理の導入を思いつき、開発できたことを披露。世界で勝つためのオンリーワン商品を作り出す秘訣は「世の中の商品は全て未完成である。既存のものに付加価値をつける。いいアイデアはすぐ形にする」の3点であることを挙げ、「日本の中小企業の技術

は世界でも十分に通用する。眼、耳、鼻、舌、身の五感を通して素直に受け入れ、正しい心を持って実行すれば、無から何か有を生み出すことができる」と説かれました。

第2部の技術講演は、明石高専教授の國峰寛司氏による「凝固問題に見る伝熱研究の展開」と兵庫県立工業技術センター主任研究員の山口篤氏による「炭素工具鋼板の水素脆性評価と抑制」と、材料開発・金属加工に関する内容となりました。

※基調講演者・若林克彦氏の著書『絶対にゆるまないネジー小さな会社が「世界一」になる方法』(中経出版)を当財団の情報ライブラリーに所蔵しています。是非ご覧ください。

・・・産業技術の最先端施設・工場を視察・・・

ー未来の都市型農業の研究開発施設ー
ー現場情報の自動入力化で成果をあげるー

「植物工場研究センター」
「(株)エクセディ」

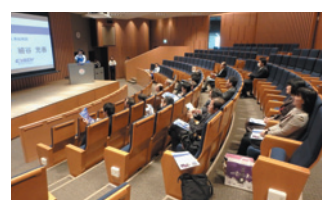
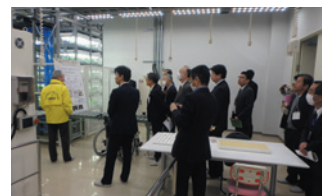
去る2月12日(木)、上記の2施設を市内企業関係者20名が視察しました。

◆植物工場研究センター 大阪府立大学21世紀科学研究機構(堺市)

高度な環境制御で、野菜を人工栽培するための研究施設。多層式栽培システムと自動栽培ロボットを組み合わせ、高い生産性を実現。周年計画生産を可能にするなど、未来の都市型農業のモデルシステムの研究開発拠点で、国内初の植物工場会社を設立し、生産・販売している。

◆(株)エクセディ 日経「強い工場アワード」優秀賞を受賞(寝屋川市)

マニュアルクラッチ、トルクコンバーターなど、産業用機械製品などを世界23か国にあるエクセディグループ41社で生産。平成26年度の日経「強い工場アワード」優秀賞を受賞。その特徴は、世界各地の同社の現場情報を自動入力化し、リアルタイムで各種情報、実績把握が可能なシステムで成果を上げている点でした。



技術実習講座 「シーケンス制御の基礎を学ぶ」 受講生募集

・・・明石高専の設備・教授陣のわかりやすい指導で・・・

毎回好評の実習講座です。シーケンス制御の基礎とPLCの初歩的な使い方を学びたい方を対象に、実習を多く取り入れ、少数の受講生を複数の教員で指導します。

- ◆受講場所 明石高専 電気情報工学科 電気電子基礎実験室
- ◆開催日 5/9・16・23・30(土)の全4回
- ◆募集定員 10名(先着順)
- ◆受講料 15,000円(テキスト代込)
- ◆申込み先・お問い合わせ

明石市産業振興財団 Tel: 078-936-7917 Fax: 078-936-7916



昨年の講座風景

慶應MCC 明石夕学サテライト講座 2015前期スタート

東京「慶應丸の内シティキャンパス」の定例講演会『夕学(せきがく)五十講』から
年間30講演を「明石市立産業交流センター」でライブ中継します。

- サテライト会場:明石市立産業交流センター ●時間:18:30~20:30 ●受講料:各回1,000円(回数受講券有 5枚 4,500円)
●詳細は財団HPに掲載 お申込み・問合せは明石市産業振興財団(TEL078-936-7917)へ

【2015前期 配信予定】

- | | | | |
|-----------|--------|-----------------------------------|-----------------------------|
| ① 4/7 (火) | 田村 次朗 | 慶應義塾大学法学部教授 | 「三方よし」の対話力~問題解決のための戦略的交渉学入門 |
| ② 4/10(金) | 唐池 恒二 | 九州旅客鉄道株式会社 代表取締役会長 | 夢みる力が「氣」をつくる |
| ③ 4/14(火) | ヤマザキマリ | 漫画家 | 辺境のない生き方 |
| ④ 4/17(金) | 山田 英夫 | 早稲田大学ビジネススクール 教授 | 競争しない競争戦略~積極的な非競争のすすめ~ |
| ⑤ 5/12(火) | 五木 寛之 | 作家 | 涙と笑い |
| ⑥ 5/22(金) | 松本 晃 | カルビー株式会社 代表取締役会長兼CEO | カルビーはどうやって変わったのか |
| ⑦ 5/26(火) | 川村 元気 | 映画プロデューサー・小説家 | 企画における「発見」と「発明」 |
| ⑧ 6/4 (木) | 水野 和夫 | 日本大学国際関係学部 教授 | 資本主義の終焉と歴史の危機 |
| ⑨ 6/9 (火) | 千住 博 | 画家・京都造形芸術大学教授 | 日本の美、世界の美 |
| ⑩ 6/17(水) | 遠藤 功 | 早稲田大学ビジネススクール教授、株式会社ローランド・ベルガー 会長 | 現場力を鍛える~非凡な現場をつくるために~ |
| ⑪ 6/22(月) | 山本 雄士 | 株式会社ミナケア 代表取締役 | 投資型医療という社会イノベーション |
| ⑫ 7/1 (水) | 山下 洋輔 | ジャズ・ピアニスト、国立音楽大学招聘教授 | 魂の音楽 ジャズの魅力 |
| ⑬ 7/7 (火) | 伊藤 元重 | 東京大学大学院経済学研究科 教授 | 国際経済と日本の課題 |
| ⑭ 7/16(木) | 村木 厚子 | 厚生労働事務次官 | 女性がいきいきと働く社会 |
| ⑮ 7/22(水) | 富山 和彦 | 株式会社経営共創基盤 代表取締役CEO | 日本はローカル経済で甦る |

※予定は4/1現在のものであり、都合により変更する場合があります。 ※講師は東京会場で講演します。

— がんばる明石の企業を応援します —

国内外の展示会等への出展助成を希望する 市内の中小企業を募集します

明石市産業振興財団では、市内中小企業の皆様が開発した製品や技術の販路開拓を支援するため、展示会・見本市への出展料等の一部を助成する制度を設けています。

- ・募集要項等の詳細は、財団ホームページ(<http://www.aicc.or.jp/>)の「トピックス」または、明石ものづくり企業紹介(<http://www.aicc.or.jp/mono/>)の「最新のお知らせ」に掲載しています。

【概要】

■助成対象は国内外で、今年6月から来年2月までに開かれる展示会や見本市です。

◆今年度から、より魅力的な制度になりました。

- ①助成上限額を20万円に倍増
- ②同一の事業で国・県など他機関からの助成金・補助金の交付を受ける場合又は受ける予定がある場合は、当該助成金・補助金を減じた額の1/2以内を助成対象経費としました。

【問合せ先】 明石市産業振興財団 企業支援係
〒674-0068 明石市大久保町ゆりのき通1-4-7(明石市立産業交流センター3階)
電話番号:078-936-7917 E-mail:info@aicc.or.jp

会社拝見

Vol.61

株式会社第一化学

所在地：〒674-0074 明石市魚住町清水 2353

URL：http://www.trancefoam.com/

Tel：078-942-3015 Fax：078-942-3016

設 立：1957年4月 資本金：1,000万円 代表者：代表取締役 狩山 謙 従業員：22名（2015年2月現在）

Q：御社の事業内容をお聞かせ下さい。

A： 当社は、1957年に第一ゴム工業所として神戸市長田区で創業し、当初はビーチサンダルやケミカルシューズなどの資材を製造していました。現在の明石市魚住町には1965年に業務拡張により移転しました。

現在は、新たに高機能ハイテク化に対応した熱可塑性樹脂発泡体[※]を開発し、“TRANCE FOAM(トランスフォーム)”のブランド名で自動車産業をはじめとするほとんどの産業で利用されています。



微妙に調整したプレス機

製品開発に取り組み、常に時代のニーズを先取りした発想で樹脂発泡体の研究・開発・製造を通して社会に貢献することを経営方針としています。

※石油原料をベースに発泡剤を混合し、加熱・加圧することで得られる。

Q：御社の経営理念（経営に対する考え方）をお聞かせ下さい。

A： 熱可塑性樹脂発泡体製造メーカーは、日本国内では10社足らずとなり、大半は中国やベトナムなど東南アジアのメーカーです。このような中で当社は国内のパイオニア企業として矜持をもって日本発のオリジナル

当社は国内のパイオニア企業として矜持をもって日本発のオリジナル

Q：御社のセールスポイントまたは、ものづくりに対するこだわりをお聞かせ下さい。

A： 当社の熱可塑性樹脂発泡体は、耐久性・耐候性に優れ、耐薬品性も良好です。低反発、高反発など用途に応じて様々な特性を付加でき、また強くしてしなやかで加工が容易なハイテク素材です。

当社製品の高反発タイプは、衝撃を跳ね返す特性により世界体操競技選手権大会や新体操の床運動のマットなどに使用されています。また、低反発タイプの“ピタフォーム”は優れた衝撃吸収特性から国内の主要なスポーツメーカーに採用され、ソチオリンピックでは滑降競技選手の肘のプロテクターとして取り入れられ衝撃から体を守りました。産業面では、誤って落下した部品がその位置にとどまり転がらずかつ傷つきを防止できることから精密部品の組立て工場で利用されたり、日本通運ではコンテナ輸送中の振動で梱包した不定形の自動車用部品が段ボール箱と擦れ、表面が傷む対策に振動吸収材としてパレット（床敷き）に取り付けるなど大きな効果を生み出しています。



ピタフォームの応用例
しなやかに変形し大切な製品を
衝撃から防ぐ“トランスネット”

Q：今後の事業展開をお聞かせ下さい。

A： 熱可塑性樹脂発泡体の活用分野には、我々が想定していない、また他社が参入していない未踏の市場がまだまだあります。当社は新規販路を開拓し、新たな需要に応えられる素材開発に邁進いたします。

情報ライブラリーのお知らせ

～ 新しい図書が入りました ～

異業種競争戦略／内田和成

なぜ、ローカル経済から日本は蘇るのか／富山和彦

リーダーの条件／五木寛之

産業・経営関係のDVD・ビデオ等の視聴覚資料も約400本所蔵しています。社内研修の教材として、ぜひご活用ください。(利用無料)

池上彰の教養のススメ／池上 彰

大格差／タイラー・コーエン